



厚生労働省 医政局長賞

民間団体部門 優秀賞

# 【中学・高校生の若者へ】 医療系学生による人体や医療についての出張/オンライン授業 (MedYou Labo)

## 取組の経緯について

実習や自らの受療経験を通じて医療現場を体験した医療系学生が、中学生・高校生(以下中高生)の目線にたち、次の2つの目的をもって出張授業を立ち上げた。

- ① 中高生に正しい医療知識、特に緊急時の対応を身につけてもらい、その後の人生の中で役立ててもらふこと
  - ② 医療に関心を持ってもらい、自分の体について主体的に考え決める姿勢を身につけてもらうこと
- 本企画を通して、患者にも人体や医療について正しく調べる力を養ってもらふことで、医療者患者間に信頼関係が構築され、医療現場の負担が軽減されると考えている。

## 事業の概要と特徴

- ① 中学・高校への出張授業(2019年2月～現在:のべ12回)  
応急処置や医療現場をテーマとしたWS、人体の解剖や受診方法に関する講義
- ② 新型コロナウイルスについてのオンライン授業(2020年4月～5月:計3回)  
新型コロナウイルスの基本的知識・感染対策の説明、医療崩壊についてのWSなど  
“楽しみながら正しい知識を得てもらふ”ことを大切に医療系の大学生が授業を行い、高い満足度を得ている。講義に加えて、現場を体験するWSなど体を動かして学ぶ機会も用意している。

## 医療のかかり方を変えていくポイント

急なけがや病気に遭遇した際、焦らず適切な初期対応を行うことができれば、患者の命が助かる可能性が高くなる。救急車を呼ぶべきか否か、救急外来を受診すべきなのかについても判断できる知識を多くの人々が持っていることで、無用な受診を減らすと同時に、逆に軽く見えても実は重症な患者が適切に医療機関を受診することができるようになる。

健康で、自分の体について考える機会が少ないであろう中高生をターゲットとし、若いうちから医療に関心をもってもらうことで、いざ医療サービスを必要とする状況になった際に適切な機関に相談できる。また、デジタルネイティブ世代の彼らがネットやSNS上の誤った情報に惑わされることを防ぐこともできる。